



事務局所在
志木市商工会事務局内
志木市本町1-6-30
048-471-0049

「3次元測量」を実施

～田子山富士修復工事～

修復工事の内容については昨年から埼玉県と打合せを行ってきましたが、昨年5月に県より、「①今から50年・100年後のことを考えし、先ずレーザー光線により3次元(3D)測量を実施し、富士塚の形状を精査する必要がある、②田子山富士塚の修理基本計画および保存管理計画について検討するための「検討委員会」を設置せよ」との指導があり、6月初旬に3次元測量費用の予算申請書を志木市を通して県に提出しました。

本年3月26日、平成26年度予算案が県議会で可決されましたので、諸手続きを行ったうえ、4月23日から3次元測量が実施されました。

この結果を踏まえて、6月上旬に修復工事のための「平成27年度文化財関係県費補助金事業計画書」を県に提出することになります。

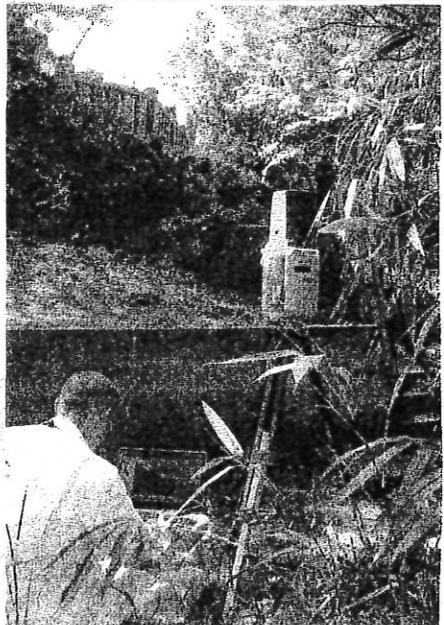
この様に「お富士さんに登れるようになるための修復活動」は皆様からのご支援をいただき、志木市・埼玉県のご指導・ご協力をいただきながら、一步一步着実に進みつつあります。

今年度は、平成27年度の修復工事実施のための申請手続きを進める同時に、財政裏付けのための寄付金活動をも進めたいと考えております。

田子山富士保存会の活動は、次代を生きる子供たちの「ふるさと作り」のお手伝いであり、新しく志木に住み着いた方たちの「第二のふるさと作り」のお手伝いだと思っております。

「生まれ、住んで良かった志木のまち」を作るため頑張って参りますので、今後とも皆様のご支援ご協力を、宜しくお願い申し上げます。

(会長・修復部会:清水良介)



【写真:3次元測量】

総会を開催

4月20日、敷島神社社務所にて総会を開催し、平成25年度の活動経過報告と決算報告、並びに26年度活動計画と予算案、更に役員選任などが審議され、満場一致で承認されました。

また、修復事業の経過報告と今後の進め方についての説明を行い、了解をいただきました。「今後の進め方」の概略は、次の通りです。

★今後の進め方★

- ・4~5月:3次元測量を実施、保存管理・基本計画書・概算見積りを作成
- ・6月上旬:平成27年度補助金事業計画書を県へ提出

・7~8月:上記計画書について、県による審査実施

- ・9月上旬:県の審査結果に基づき、寄付金集めの実施を判断
- ・9~10月:寄付金集めの実施方法を検討し、理事会で審議決定する。

注記 修復費の負担割合

- ・埼玉県: 50%
- ・志木市: 25%
- ・保存会: 25%



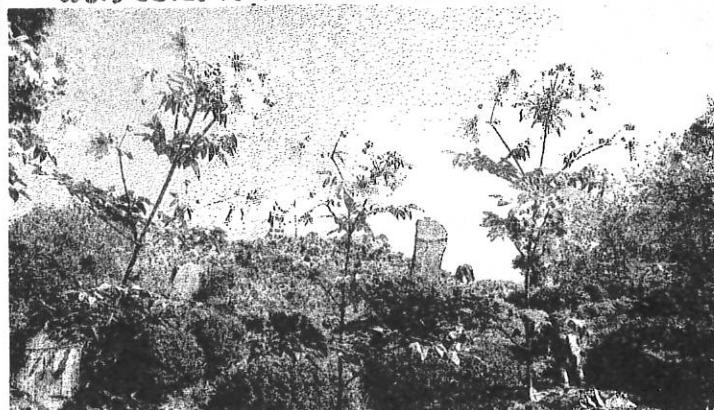
保存整備委員会が発足

昨年11月7日、「田子山富士塚保存整備委員会」が発足しました。メンバーは埼玉県文化財保護審議会委員の大館氏(委員長)・小野寺氏、志木市文化財保護委員会井上会長(副委員長)、敷島神社池田責任者代、当会の清水会長・深瀬副会長の6人で構成されています。事務局は志木



今後の日程

草取り・清掃①	6月15日(日)	9時より
山開き	7月 5日(土)	10時より
山仕舞い	8月21日(木)	15時より
草取り・清掃②	9月28日(日)	9時より
草取り・清掃③	11月24日(月)	9時より



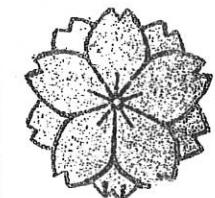
お富士さんに「皇帝ダリア」

志木市商工会観光資源開発部が玉垣の内側に植え付けた皇帝ダリアが11月に見事に咲きました。春ではなく晩秋でしたが、まるで富士山の中腹にたなびく雲のようでした。(事業部会:武藤典夫)



市長・副市長が視察

11月7日、香川市長・櫻井副市長・尾崎教育長が、田子山富士塚・羽根倉富士塚・市立郷土資料館・日行星山石碑を視察され、富士信仰に関わる市内のお宝の現状について理解を深めていただきました。



樹木の枝下ろしを検討
第2回田子山富士塚保存整備委員会の中で、区域内の樹木が大きく成長したため田子山塚を損壊する恐れがあることが指摘されました。特に北側斜面に生えている「山桜」やお胎内の上に生えている「檜・楓」などはその可能性があり、その他の樹木も周辺住民の方々へ迷惑をお掛けしています。この為何らかの対応が必要となります。域内に生えている樹木をむやみに切り倒すことは憚(はばか)られますので、大幅な枝下ろしで対応するなど、理事会・総会等で当会の意見を集約致しました。この後は、対応方法を「田子山富士塚保存整備委員会」で審議し、平成27年度修復工事項目に加えて対処して行く予定です。【写真:北斜面の山桜】

